

鹿児島地本だより

第42号
(令和3年 新年号)

発行元
自衛隊
鹿児島地方協力本部
印刷所
南日本出版株式会社



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長
1等海佐 赤岩 英明

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、鹿児島地本の募集、就職支援等の各種業務に対し、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。日頃から皆様にご協力を頂いていただき、適宜我々の業務の進捗状況をお知らせしたいところでありましたが、なかなか叶いませんので、この場をお借りして、昨年の活動状況等について申し上げます。

まず募集ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、みなと祭りなどのイベントが軒並み中止・縮小を余儀なくされ

るなど、思うような募集活動ができず前年には届かない部分もありましたが、現段階では皆様のご協力もあり一定数の志願者を募ることができている状況です。

次に就職支援ですが、7月に計画した合同企業説明会が九州豪雨のために9月に延期となり、延期した説明会も台風10号の接近のため中止となりましたが、各企業様に個別に対応していただき、何とか就職支援活動が実施できています。

予備自衛官等の確保についても示された目標達成に向けて鋭意努力中です。なお、鹿児島県在住の予備自衛官等の中から、令和2年7月豪雨に伴う災害派遣において即応予備自衛官22名及び看護師資格を保有する予備自衛官3名が任務に従事し、活躍しました。

広報については、イベント等が開催できないことが予想されたことから特にSNSに力を入れた広報を実施してきました。防衛日報社が昨年3月からほぼ毎月「地本Twitterフォロワーランキング」を発表しておりますが、皆様のご協力もあり鹿児島地本は

13位から6位にまで浮上しました。(12月1日現在)

このように昨年は思うような活動ができなかった部分もあった一年でしたが、当本部は今年も県民と自衛隊の架け橋となるべく、誠心誠意を尽くして各種業務を実施して参りますので、引き続き皆様のご協力、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様にとって良い一年となることを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

鹿児島県防衛協会
会長 塩田 康一

新年あけましておめでとうございます。

自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並び

に鹿児島県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。

自衛隊鹿児島地方協力本部におかれましては、昭和29年7月に設立されて以来、長きにわたる、自衛官の募集や就職支援活動をはじめ、災害対応や国民保護業務における自衛隊と県内自治体等との連携に御尽力いただき、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、豪州森林火災への国際緊急援助隊の派遣、九州地方を中心に甚大な被害が発生した令和2年7月豪雨や、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための災害派遣活動等、広範多岐にわたる任務に、迅速かつ的確に取り組み、自衛隊本来の任務である国の防衛のため、日夜切れ目なく各種事態等への対処に尽力されております。

本県でも、台風第10号に伴う十島村の島外避難支援や離島急患搬送及び各種防災訓練への参加など、県の危機管理防災行政の推進に大きく貢献いただいております。緊急時における自衛隊の活動は、県民の生命、財

産を守る上でますます重要になっております。

このような中、鹿児島県からも毎年多くの若者が自衛隊を志して入隊し、国内はもとより世界各地で活躍する姿に接し、大変心強く感じております。

自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様には、引き続き、県民と自衛隊の部隊・隊員の皆様との架け橋となられ、県の危機管理行政及び地域コミュニティの維持・活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたしま



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部後援会
会長 谷川 洋造

新年明けましておめでとうございます。自衛隊鹿児島地方協力本部後援会の皆様を始め、自衛隊鹿児島地方協力本部部員の皆様、防衛協力

諸団体の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。昨年中は、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会に対しまして、各関係機関・団体等から格段のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。自衛隊鹿児島地方協力本部におかれましては、昨年4月から、新たに赤岩英明本部長が就任され、統率方針である『もしドラ』の実践のもと、部員総員が一丸となって、各分野で更なる飛躍と発展を揺るぎないものとしてこられたものと確信いたします。

さて、わが国周辺地域を取り巻く安全保障環境に目を向けてみますと、北朝鮮は、度重なる核実験を実施し、近年、前例のない頻度で弾道ミサイルの発射を繰り返すなど、大量破壊兵器や弾道ミサイルの能力向上を図っており、我が国はもとより国際社会に対する重大かつ差し迫った脅威を与えております。また、隣国中国は、尖閣諸島周辺において、力を背景とした一方的な現状変更の試みを執拗に継続し、南シナ海においても、軍事拠点化を進めるとともに、海空域における活動も拡大・活発化させており、様々な課題や不安定要因がより重大な事態へと急速に発展していくリスクを抱えています。

また、国内外に目を向

けますと、世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症との戦いは、重大な脅威となり、その感染拡大防止に向けた様々な対策や活動が継続しております。自衛隊は昨年7月に発生した豪雨災害や台風9号、10号に伴う大規模風水害や土砂災害等の甚大な自然災害等の発生に際しては、日頃の厳しい訓練の成果をいかんなく発揮して迅速に対応し、人命救助、生活支援及び民生の安定に大きく寄与しています。

また、防衛力の中核は自衛隊員であり、自衛隊員の人材確保と能力・士気の向上は、防衛力の強化に不可欠であり、人口減少と少子高齢化の急速な進展によって大きな喫緊の課題となっております。自衛隊が各種任務を遂行するためには、激動する国際環境の変化の中で、これを下支えする財政的充実拡充も計り人的基盤を安定的に充実・強化することと、国民一人ひとりがアジアの現状と動向を認識し自国の将来に禍根なきよう努め、地方公共団体等の理解と協力が不可欠であると考えます。

このような中、自衛隊鹿児島地方協力本部は、各関係機関・団体や後援会各位のご理解とご協力のもと、自衛官の募集及び採用、退職予定隊員の就職の援助、予備自衛官等の管理、各種広報活動等の任務において、各

自治体等をはじめ県民の皆様との良好な関係を維持・強化し、防衛基盤の拡充を積極的に推進し、着実に実績を積み上げています。

自衛隊鹿児島地方協力本部後援会におきましても、赤岩本部長をはじめ地方協力本部と一体となつて、国家の平和と国民の安全・安心を願う県民の皆様に対し、わが国の防衛及び自衛隊に関する理解の深化に努め、防衛省・自衛隊との架け橋となるよう、なお一層努力して参る所存であります。

つきましては、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会の今後更なる充実・発展のためにも、各関係機関・団体の皆様方の新規会員の加入に対するご協力も切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、自衛隊鹿児島地方協力本部の益々のご発展と部員並びにご家族の皆様、後援会会員の皆様、そして防衛協力諸団体の皆様方のご健勝とご多幸を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



※「鹿児島地本」は「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。



新年のご挨拶

公益社団法人鹿児島県隊友会
会長 宮口 修一



新年のご挨拶

公益社団法人自衛隊家族会
鹿児島県自衛隊家族会
会長 伊藤 正夫

新年明けましておめでとうござい
ます。自衛隊鹿児島地方協力本部
の皆様、家族会の皆様、後援会の皆
様におかれましては、コロナ禍に打
ち勝つ強い信念とともにご健勝に
て新しい年をお迎えのことと心よ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様
におかれましては、ご家族お揃いで
健康やかに新しい年をお迎えの事
とお慶び申し上げます。
昨年、新型コロナウイルスが感
染拡大し、いまだその猛威をふるっ
ており日本全体の生活、経済を揺る
がしています。鹿児島県においても

りお慶び申し上げます。地方協力本
部の皆様には、県隊友会本部をはじ
め、県内各地で活動しています各支
部が何かとご支援ご協力を賜り、
心より感謝申し上げます。
地方協力本部におかれましては、
入隊適齢人口の減少、高学歴化の情
勢に広報活動を局限するコロナ禍
が加わり極めて厳しい募集環境の
中、赤岩本部長の御統率のもと総力
を挙げて任務に邁進されておられ
ますことに心から敬意を表します。
さて、我が自衛隊は厳しい訓練の
中においても、令和2年7月豪雨や
コロナ禍への災害派遣任務等、訓練
の成果を発揮し、立派に完遂してい
ます。彼らの真姿を国民にしっかり
広報し、人的基盤を確保するため、
私たち隊友会も地方協力本部と連
携し、「国民と自衛隊の架け橋」とし
て活動してまいります。
厳しい募集環境ではありますが、
鹿児島地方協力本部の更なるご発
展ご活躍を祈念申し上げます、新年の
挨拶といたします。

その影響は同様で「かごしま国体」
の延期をはじめ各種イベントも中
止になっております。
自衛隊鹿児島地方協力本部にお
かれましては、昨年は各種行事やイ
ベント等の広報活動が中止され、ま
た、依然として続く少子化等による
厳しい募集環境の中、今後の自衛隊
を担う新隊員の募集活動や退職す
る隊員の希望する就職の援助を行
う等これまで以上に頑張っておりま
す。私達家族会も、「自衛隊員の士気
を鼓舞し、我が国の防衛に、より貢
献する」を目的として立ち上げて今
年で六十四年になります。平成二十
九年一月一日に公益社団法人自衛
隊家族会として認可を受け、より一
層防衛意識の普及、高揚を図りなが
ら自衛隊諸活動への協力を通じ、隊
員や家族の方々の親睦を深め、隊
員の方々が任務に邁進できる環境
ができればと思う思いで頑張っ
ております。
一刻も早い新型コロナウイルスの
終息を願いつつ、自衛隊鹿児島地方
協力本部の皆様のご健勝とご活躍
を祈念申し上げます、新年のご挨拶と致
します。

令和2年度

感謝状贈呈

防衛省・自衛隊に対してご
支援を頂いた左記の方に感
謝状を贈呈いたしました。
(敬称略)

防衛大臣感謝状
(募集功労)
学校法人川島学園 私立 鹿児島
実業高校

西部方面総監感謝状
(就職援護功労)
社会福祉法人緑風会
社会福祉法人常盤会

予備自衛官等雇用功労
株式会社コマロック
霧島市敷根清掃センター
株式会社ホテル京セラ

(募集功労)
鹿屋市立 鹿屋女子高等学校
鹿児島県立 明桜館高等学校
鹿児島県立 喜界高等学校
鹿児島県立 鹿屋農業高等学校
鹿児島県立 奄美高等学校
鹿児島県立 鹿屋高等学校

佐世保地方総監感謝状
(一般功労)
田中 礼臣(鹿児島旭日会会長)

第8師団長感謝状
(一般功労)
有村 長藏(前自衛隊鹿児島地方協
力本部OB会会長)

本部長感謝状
(一般功労)
垣内 猛(鹿児島県防衛協会青年部
会長)
小牧 隆(鹿児島市防衛協会青年部
会長)
中島 身依(鹿児島県自衛隊広報大使
上田 勇作(自衛隊鹿児島地方協力
本部後援会理事)

(就職援護功労)
株式会社勝利商會
南国交通株式会社
西日本高速道路サービス九州鹿児
島支店
医療法人美崎会国分中央病院
株式会社SKライン南九州鹿児島
営業所
伊田食品株式会社
中央工業株式会社

(予備自衛官等雇用功労)
社会福祉法人落穂会
(募集功労)
鹿児島県立 加治木工業高等学校
鹿児島県立 鹿児島工業高等学校
学校法人津曲学園 鹿児島高等学校
指宿市立 指宿商業高等学校
福山 拓生(瀬戸内町家族会副会長)
木原 史章(南九州市川辺町家族会
池田 亮(和泊町総務課職員)
南 有紀(曾於市役所総務課職員)
吉田 道信(糸吉町家族会副会長)

※今年度は、新型コロナウイルス感
染拡大防止の為、感謝状贈呈式は行
わず、個別に贈呈とさせていただきます
ました。



令和元年度 優秀募集相談員

地方協力本部が行う自衛官
募集活動への協力や志願者に
関する情報の提供をいただき
ことを目的として、各所毎に募
集相談員を委嘱させていただきました
ところですが、令和2
年度から、前年度活動実績に対
して各所1名を基準に表彰さ
せていただくことといたしま
したので、ここに紹介いたし
ます。

(敬称略)
薩摩川内出張所推薦
馬見新 一

鹿屋地域事務所推薦
鬼丸 京子

国分地域事務所推薦
高橋 里美
池袋 靖彦

大隅地域事務所推薦
田浦 天志

鹿児島募集案内所推薦
上園 禎孝

知覧分駐所推薦
古市 剛

奄美駐在員事務所推薦
与島 邦重

種子島駐在員事務所推薦
酒井 房幸

徳之島駐在員事務所推薦
住 純二

募集課 新型コロナウイルス 感染拡大防止環境下の 採用試験

自衛隊鹿児島地方協力本部で
は、令和2年度、世界的に感染が
拡大している新型コロナウイルスに
負けず、各種採用試験に奔走
してまいりました。

実施に当たり、まず、国のガイ
ドライン、上級部隊等の関連通
達、鹿児島県の対策方針を確認す
るとともに、他に先駆けて採用試
験を実施した自衛隊福岡地方協
力本部の成果を参考に、自衛隊鹿
児島地方協力本部独自の「新型コ
ロナウイルス感染拡大防止環境
下における採用試験実施マニユ
アル」を作成いたしました。

次に、感染拡大防止の基本的対
処であるスクリーニング(※)と感
染拡大防止処置を徹底して行い
ました。

スクリーニングは、個人用健康
観察シートを事前に受験者に配
布し、試験日の14日前から体温等
を記録していただくとともに、試
験当日も非接触型体温計によ
る受験者の検温、健康状態の確認
を行いました。

感染拡大防止処置は、マスクの
着用、ソーシャルディスタンスの
保持、消毒・換気を確行いたしま
した。

これまで採用試験に伴う感染
者は発生しておりませんが、これ
からも油断することなく、これら
の対策を徹底し、募集目標達成に
向けて採用試験を継続してまい
ります。

※ スクリーニング：感染の疑
われる者をふるい分けること。



入門時の検温

防災ノウハウの普及や自衛隊の災害派遣活動の紹介による地域の防災意識の向上、自衛隊への理解促進をねらいとして、昨年度から県内各地で防災講話を実施しています。

今年度は、依頼のあった学校等と協議し、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら実施していますが、単に講話のみならず、災害派遣活動の動画や写真パネル、実際に災害派遣で使用する装備品の展示や、7月の九州豪雨の災害派遣活動に参加した国分駐屯地の隊員による当時の体験談の紹介を組み合わせ、地域の皆様により防災のイメージを持っていただけるようにしています。

また、一部の学校からは救急法の講習も依頼されており、陸上自衛隊の衛生職種の広報員を教官として、AEDの使用、心肺蘇生法、応急担架の作成、傷病者の搬送などの実技の普及を図っています。

防災講話の依頼は通年受け付けており、防災講話を通じて、1つでも多くの学校等に防災意識の向上、自衛隊への理解促進を図ってまいります。

防災講話の様子



募集課

防災講話

令和2年7月豪雨は、熊本県を中心に九州各地に大規模な被害をもたらしました。

本災害に対応するために、予備自衛官及び即応予備自衛官(以下「予備自衛官等」という。)の招集が決定されたことを受け、自衛隊鹿児島地方協力本部援護課予備自衛官班では、7月5日から予備自衛官等災害招集業務を開始しました。

予備自衛官等とは、普段は民間人としてそれぞれの職業に従事しながら、毎年定められた日数の訓練に参加し、いざという時には招集されて自衛官となり、国防や災害派遣などの任務にあたるものです。近年は各地で相次ぐ災害等で被災者に寄り添う様々な活動が注目を集め、大いに期待される存在となっています。

予備自衛官等の災害招集業務は、現在の予備自衛官班員にとって初めての経験でありましたが、関係部隊、予備自衛官等及び雇用企業様と迅速かつ綿密な調整を重ねた結果、即応予備自衛官22名及び看護師の資格を有する予備自衛官3名の計25名が災害招集に応諾されたため、同月8日以降、出頭日が決定した方から順次、災害招集命令書を直接交付し、異状なく交付を完了させることができました。

出頭調整にあたり、我々がまず驚かされたのが、出頭に承諾された予備自衛官等の意識の高さでした。皆さん一様に「仕事の調整がつか次第出頭できます。」との回答でした。また、それを受けて雇用企業様に災害派遣へのご協力を依頼したところ、出頭日までの期間が短い中、ほとんどの雇用企業様から「話は聞いています。派遣は大丈夫です。」と快く了承をいただき、なんとかして社員を災害派遣に送り出そうとご苦労されていることをひしひしと感じました。

予備自衛官等制度は、日々の仕事と招集訓練を両立させている予備自衛官等の努力もさる事ながら、雇用企業様のご理解・ご協力なしでは成り立たない制度だと改めて実感させられました。

自衛隊鹿児島地方協力本部援護課予備自衛官班では、今後も予備自衛官等が出頭しやすい環境づくりに努め、雇用企業の皆様引き続きご理解とご協力をいただけるよう、業務に取り組んでまいります。



災害等招集命令書交付の様子

援護課

令和2年7月豪雨における予備自衛官等災害招集

奄美大島でラジオ広報



奄美大島駐在員事務所

10月7日、瀬戸内分屯地で勤務する地元出身隊員4名(入隊1~2年目)とともにラジオ広報を行いました。エフエムせとうちのパーソナリティの當郷裕之さんと軽快なトークを交えながら自衛隊を地元住民にPRいたしました。 ※マスクは、写真撮影の為、一時的に外しています。

凜と成長した姿に驚嘆



鹿児島募集案内所

8月4日、今春陸上自衛隊高等工科学校に入校した久松生徒と横山生徒が、母校である鹿児島市立吉野中学校を訪問し、自衛隊をPRしました。校長先生と当時の担任の先生は成長した二人の姿に驚かれていました。

再就職に向け準備は万全！！



国分援護センター

8月20~21日に国分駐屯地で任期制隊員への就職補導教育を支援しました。ビジネスマナーを学ぶとともに、熱心に面接練習に取り組みました。今後も隊員が安心して再就職できるように支援してまいります。

よろ~て市に参加して

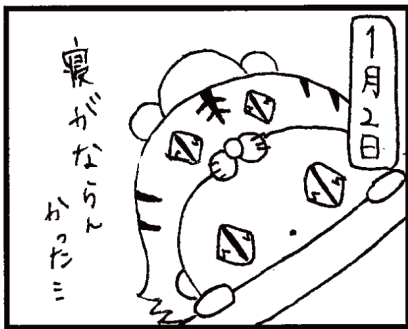
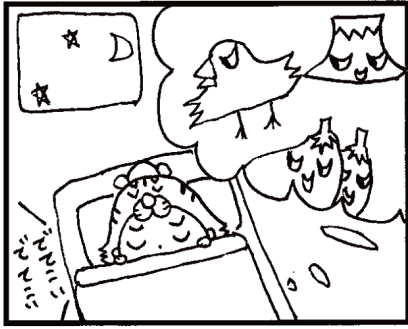


種子島駐在員事務所

8月9日、中種子町で行われた「よろ~て市」に参加いたしました。このイベントは種子島中央高校3年生が地元を盛り上げるために企画したものであり、地本公式キャラクターのまもるくんも参加し、高校生とともにイベントを盛り上げました。

各所、センターの話題

おとけあ りんたんじゅん



広報活動の紹介



10.3 掃海艇「あいしま」艦艇広報(鹿児島市)



10.5 南極の氷贈呈(平川小学校)



10.17 キャラ散歩(鹿児島市)



11.3 おはら祭り(鹿児島市)

広報活動の一環として、艦艇広報(特別公開)や県内各地の小学校7校への南極の氷の贈呈を行ったほか、地本公式キャラクターのリッタン及びまもるくんが鹿児島市天文館で行われた「キャラ散歩」に参加いたしました。また、11月に行われたおはら祭りでは、鹿児島県自衛隊広報大使とともに自衛隊をPRいたしました。

毎日配信中!

地本SNS紹介

~Twitter・インスタやってるよ!~

イベント情報や試験情報も発信中!

ぜひ、見に来てね!

フォロー待ちっよっど!

某ネットニュースで、取り上げられました。

動画が某テレビ番組で放送されました。

人事往来

【転出者】

- 自衛官**
- 准空尉 重盛 郷
 - 第9航空団司令部(広報企画室)
 - 3等海曹 野平 奈美
 - 第1整備補給隊(鹿屋地域事務所)

【転入者】

自衛官

- 2等陸佐 川久保 壽人
- 鹿児島地方協力本部付(西部方面総監部)
- 1等陸尉 宮坂 謙二
- 薩摩川内出張所副所長(第113教育大隊)
- 2等陸曹 山田 駿
- 奄美大島駐在員事務所(西部方面システム通信群)
- 2等海曹 田野 敦子
- 鹿屋地域事務所(第1整備補給隊)
- 2等空曹 中野 浩平
- 広報企画室(第5航空団補給隊)
- 2等空曹 須見 征弘
- 募集課(飛行教育航空隊)

配置替

- 1等陸尉 宮坂 謙二
- 薩摩川内出張所長(薩摩川内出張所副所長)
- 陸曹長 新田 恒文
- 募集課(鹿児島募集案内所)
- 1等陸曹 月野 希勇馬
- 募集課(種子島駐在員事務所)
- 2等陸曹 松村 忍
- 総務課(奄美大島駐在員事務所)

【定年退職者】

- 2.7.8 小倉 聡
- 退職時...2等陸佐
- 2.10.30 川久保 壽人
- 退職時...1等陸佐

【付配置】

- 1等陸尉 米盛 祥一
- (薩摩川内出張所長)

募集情報受付

あなたの周りに「自衛隊に興味がある」「自衛隊ってどんなところだろう」という方がいらっしゃいましたら、左記の電話番号に是非ともご連絡ください。もちろん、読んでいるあなたが気になるなら直接、お電話を!



待ちっよっど

お問い合わせ先



本部	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	099-253-8920 (代表)

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

鹿児島地本

検索

鹿児島地本 HP

